

令和元年度 財政状況の公表 市の決算

一般会計

一般会計では福祉や教育、都市整備など、市の主なお金の出入れをしています。

令和元年度の決算は、歳入から歳出を差し引いた9億4990万円から、令和2年度に繰り越した事業の財源5億4573万円を差し引いた実質収支で、4億417万円の黒字になりました。

歳入 1169億6129万円

平成30年度に比べて、幼児教育・保育の無償化による国庫支出金や小・中学校へのエアコン設置のため市債などが増えたことにより、総額では49億2052万円の増になりました。

歳出 1160億1139万円

平成30年度に比べて教育費や民生費、土木費などが増え、総務費や商工費、衛生費などが減ったことにより、総額では56億4018万円の増になりました。

歳出ポイント

◆公共施設の大規模改修
公共施設保有最適化・長寿命化のため、庁舎、学校、教育文化福祉施設、市営住宅など市の施設の整備、維持更新に取り組みました。

改修の内容	決算額
中央公民館複合化・大規模改修	11億1315万円
サンライフ盛岡大規模改修	2億9149万円
公共施設のトイレの洋式化	2億7476万円

◆市債残高の推移
市債残高は1333億7606万円で、昨年度に比べ23億6521万円増加し、令和元年度末でみた市民一人当たりの借金は46万4198円で、昨年度に比べ1万584円の増です。

盛岡市は健全団体です

財政指標 (財政健全化判断基準)

地方公共団体の財政健全度を判断する4つの指標について、市はいずれも早期健全化基準を下回り、健全な水準です。

※いずれかの指標が基準を超えると「早期健全化団体」や「財政再生団体」になり、財政健全化のための税金の増額、住民サービスの見直しなどが必要になります

	盛岡市	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字割合	赤字は発生していません	11.25%	20%
②連結実質赤字比率 全ての会計の赤字割合	赤字は発生していません	16.25%	30%
③実質公債費比率 年間の借金返済額の割合	9.5% (9.3%)	25%	35%
④将来負担比率 将来負担すべき負債の割合	63.0% (60.6%)	350%	

※()内は平成30年度の比率 健全財政 → 財政悪化

市は、市税や地方交付税などを財源にして予算を編成し、市民生活の向上と快適なまちづくりに取り組んでいます。令和元年度決算がまとまりましたので、概要をお知らせします。

【問】財政課 ☎613-8362 【広報ID】1032712

詳しくは市のホームページをご覧ください。



歳出の内訳 (令和元年度決算額)

- ◆民生費 472億4662万円
 - 幼児教育・保育の無償化による運営費給付 33.3億円
 - 私立保育所などの建設・改修に助成(新設2施設、増改築4施設、大規模改修3施設) 4.7億円
 - 乳幼児の保険医療費の全額給付など 4.7億円
- ◆土木費 161億7736万円
 - 道明、都南中央第三、太田地区などの区画整理や生活環境整備 30.3億円
- ◆教育費 116億6612万円
 - 小・中学校と幼稚園へのエアコン設置 34.1億円
- ◆公債費 123億6409万円
 - 公共施設・インフラの整備などのための市債の返済や利子の支払い
- ◆総務費 109億1206万円
 - いわて盛岡シティマラソンの開催など 0.4億円
 - ホストタウンの事前キャンプ受け入れなどスポーツツーリズムの取り組み 0.3億円
 - 移住・定住・交流人口対策 0.2億円
- ◆衛生費 79億8287万円
 - 幼児、小・中学生のインフルエンザ予防接種補助など 8億円
- ◆消防費 45億42万円
 - 玉山地域の防災無線の更新 2.1億円
- ◆議会費・その他 13億8948万円
- ◆商工費 11億4115万円
 - 成長分野と位置付けている医療福祉機器製造業などの支援 0.2億円
 - 観光客の誘致・宣伝 0.4億円

民生費

土木費

公債費

教育費

総務費

衛生費

消防費

議会費・その他

商工費

上下水道局 の決算

水道と下水道のこと
知ってほしいな!



水道事業と下水道事業は、皆さんにお支払いいただいている水道料金と下水道使用料を主な財源として運営しています。施設の老朽化や使用水量の減少などにより厳しい経営環境がありますが、長期的に、安心して上下水道をお使いいただけるよう努めています。

【問】上下水道局経営企画課 ☎623-1442

水道事業会計 →

水道料金などの収入
72億7千万円

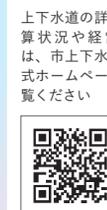


純利益(黒字)
19億7千万円

水道水をつくり家庭へ届けるための支出
53億円

水道管などを整備するための支出
31億3千万円

過去の借入金の返済
13億7千万円



上下水道の詳しい決算状況や経営分析は、市上下水道局公式ホームページをご覧ください

教えて!下水道あいちゃん

◆下水道事業も黒字ということいいのかな?
令和元年度は7億円以上の黒字にはなっているけど、返済した借金は33億円以上もあるの。

◆どうしてそんなに借金があるの?
市の下水道管を全部つなげると約1894キロメートル、列車で盛岡駅から熊本駅に着くくらい長いよ。これを整備するために、今までたくさんのお金を借りてきたの。さらに、令和元年度も新しい下水道管などを整備するために、9億円以上の借金をしたのよ。

◆じゃあその分を毎年きっちり返さなきゃだめなんだね。水道管と同じように、下水道管も古くなっていくの?
下水道の整備を始めたのは昭和28年よ。67年もたっているからそろそろ新しくしなきゃならないわ。そのためには、平均して毎年約29億円が必要になりそうよ。でも、盛岡市の人口が減っていることもあって、下水道使用料の収入が減っているのが気がかりなの。

◆このままだと、お金が足りなくなるとのこと?
そうなの。借金返済や、下水道管などを新しくするお金が足りなくなる心配があるの。

◆下水道がないと困るなあ。ずっと使い続けるためにはどうしたらいいの? みんなで考えなくちゃね。

下水道事業会計

下水道使用料などの収入
80億9千万円

純利益(黒字)
7億5千万円

下水を処理するための支出
73億4千万円

純利益
7億5千万円

国からの補助金、市の負担、過去の蓄えなどの一部
37億9千万円

下水道管などを整備するための支出
21億4千万円

過去の借入金の返済
33億7千万円

借入金
9億7千万円

下水を処理する
ための支出
73億4千万円